

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ
 令和6年7月12日
 商社多収米 KYOU-RYU. EXPRESS
しきゆたか速報
 福井No.1単収を目指して!! No.6 J A 福井県

7月に入り35℃を超える猛暑日があったかと思えば、激しい降雨に見舞われる日もありました。気温は平年より高い(平年比:109.7%)状況でした。今週末まではまだまだ不安定な天候が続く予報となっていますので、継続してもち病や紋枯病の発病確認を行いましょう。福井県では今週カメムシ注意報も発令されました。畦畔除草を始めカメムシ対策を徹底しましょう。

1. J A生育調査状況 (7月10日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	-	69.0	323.8	-	4.4

【平年比】

- 草丈 : 短い
- 茎数 : 多い
- 葉色 : 並み

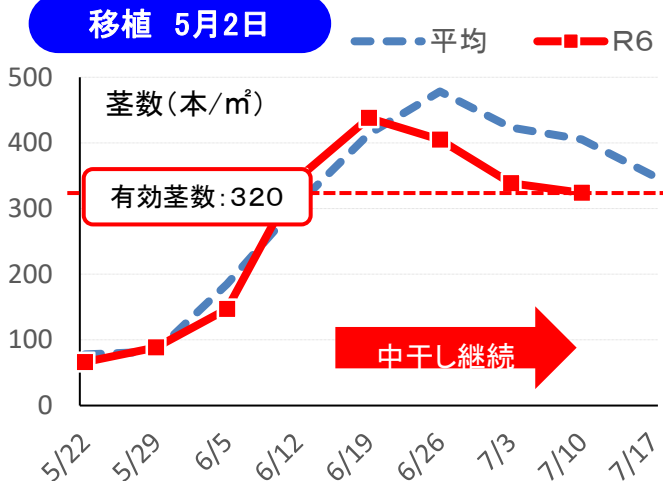
【生育調査状況】

茎数が緩やかに減少してきました。移植は適正茎数に近づきつつあります。

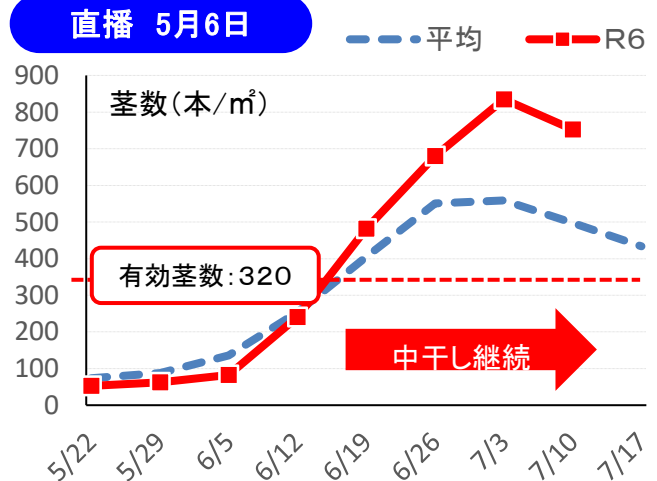


2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月2日



直播 5月6日



3. しきゆたか栽培管理のポイント!

【紋枯病の防除】

紋枯病は稲の株元から徐々に上部に伸展し、ひどい場合は稲が白穂になり収量が著しく減収します。また、稲体が弱くなり倒伏しやすくなります。昨年、紋枯れ病の発生の多かった圃場では、リンバー粒剤を7月中旬から下旬に散布しましょう。

* 発病好適条件

- ・気温28～32℃
- ・過繁茂の圃場

◇農薬: リンバー粒剤

◇使用量: 3～4kg/10a

◇散布時期: 出穂5～30日前



(30日前)

(20日前)

(10日前) (5日前)

散布時期

湛水状態で散布し、3～4日間は保つ

